

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フレデリーしんまち		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 24日		R8年 3月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	R8年 3月 2日		R8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や発達に応じた支援が行われていることについて、多くの保護者から高い評価をいただいています。個別支援計画に基づいた支援が実施されている点や職員が子ども一人ひとりに寄り添いながら共感的に関わっている点が強みと考えられます。	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行うことを意識している。	子ども一人ひとりの特性に合わせて支援を継続し、職員間で情報共有を行いながら支援の質を図る。

2	事業所の環境面についても、「清潔で活動しやすい環境である」「子どもが安心して通所できている」「通所を楽しみにしている」といった回答が多く見られ、子どもにとって安心して過ごすことができる居場所になっていることがうかがえます。	子どもが安心して過ごせるよう、職員が気持ちに寄り添った関りを心掛けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心して過ごせる環境作りを継続し、職員が丁寧に関わることで信頼関係を深める。 ・子どもが楽しみながら参加できる活動内容を工夫し、様々な経験ができる機会を増やしていく。
3	日頃の様子や相談対応など、保護者との情報共有や連携についても概ね良好な評価を頂いており、家族連携の支援が行われていると考えます。	連絡帳や面談を通して、保護者との連携を大切にしている。	保護者との連絡帳は面談を通して、家族との連携を深め、子どもの成長を共に支えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもたちとの交流の機会や、保護者同士の交流の機会、家族支援の取り組みについては、わからない等の回答が多くみられたので弱みと考えられる。	保護者会や家族参加型の研修については、実施状況や内容が十分周知されていなかったり、機会が少ないと感じている保護者がいることが課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や交流会、保護者向けの情報提供の機会を検討していきます。 ・事業所の活動内容や支援の様子について、連絡帳やSNSなどを通して保護者へわかりやすく発信していきます。
2			

3			
---	--	--	--